



2018年 北米ポテトクroppレポート

2018年7月

シンプロット・ジャパン株式会社



米国産原料じゃがいも 貯蔵量及び消費量 (単位：千トン)

【6月1日米国州別原料貯蔵量】

州名	2017年	2018年	前年比
アイダホ州	952.56	1,043.28	9.5%
オレゴン州	167.83	136.08	-18.9%
ワシントン州	589.68	589.68	0.0%
太平洋岸北西部合計	1,710.07	1,769.04	3.4%
その他地域	742.54	904.94	N/A
米国合計	2,452.61	2,673.98	9.0%

【4-5月米国州別原料消費量】

州名	2017年	2018年	前年比
アイダホ州	1,406.16	1,224.72	-12.9%
オレゴン州	172.37	181.44	5.3%
ワシントン州	725.76	771.12	6.3%
太平洋岸北西部合計	2,304.29	2,177.28	-5.5%
その他地区合計	1,203.40	1,211.11	0.6%
米国合計	3,507.69	3,388.39	-3.4%

【4-5月米国9州* 加工向け原料消費量】

州別	2015年	2016年	2017年	2018年	前年比
アイダホ州及びオレゴン州の一部	722.8	667.9	702.4	708.3	0.8%
その他	1,033.8	1,036.7	1,023.1	1,083.4	5.9%
9州消費量合計	1,756.6	1,704.6	1,725.5	1,791.7	3.8%
【消費量内訳】					
ディハイ加工向け消費	414.8	364.7	377.6	387.1	2.5%
冷凍加工、その他消費	1,341.7	1,339.9	1,347.9	1,404.6	4.2%

6月1日時点での米国内原料貯蔵量は前年比9%の増加、原料全体の消費量も減少してはいるものの、加工向けの消費は好調に推移している

*アイダホ州、オレゴン州、ワシントン州、コロラド州、ミネソタ州、ネバダ州、ノースダコタ州、ウィスコンシン州、メイン州

Source : NAPMN June 21, 2018

2018年米国秋作・カナダ原料じゃがいも作付面積 (単位：千エーカー)

*2018年数値はNAPMN予測

地域	州名	2015年	2016年	2017年	2018年*	前年比
太平洋岸北西部	アイダホ州	323.0	325.0	310.0	315.0	1.6%
	ワシントン州	170.0	170.0	165.0	165.0	0.0%
	オレゴン州	39.0	39.0	39.0	38.0	-2.6%
中西部	ノースダコタ州	82.0	80.0	75.0	74.0	-1.3%
	ミネソタ州	41.0	43.0	46.0	44.0	-4.3%
	ウィスコンシン州	63.0	65.0	68.0	67.0	-1.5%
	ネブラスカ州	15.5	16.5	19.0	19.5	2.6%
	ミシガン州	46.0	47.0	46.0	48.0	4.3%
その他地域		143.1	138.3	140.0	140.8	0.6%
米国合計	米国合計	922.6	923.8	908.0	911.3	0.4%
カナダ	カナダ合計	345.3	346.4	345.8	351.0	1.5%
北米合計	北米合計	1,267.9	1,270.2	1,253.8	1,262.3	0.7%

Source: 米国 : NAPMN July 3, 2018
 カナダ : NAPMN May 16, 2018

太平洋岸北西部産貯蔵・生育状況



2017年産貯蔵原料状況

- 貯蔵原料は良好な状態を保ち、長期貯蔵に伴う影響は特になし
- 品質レベルは特筆すべき問題もなく、過去5年の平均並み
 - アイダホ州：昨年秋以降に収穫された原料も問題なく加工されており、今後スムーズに2018年産に移行していく見通し
 - ワシントン州：概ね保管状態も良く、品質レベルは維持されている

レンジャーラセット種



シェポディ種



※ともにワシントン州、
2018年6月下旬時の生育状況

2018年産作付・生育状況

- 春先の低温により作付けは遅れたが、その後5月～6月の天候は安定
- 生育は平年よりやや早め
- 生育進捗データ上で塊茎の生育状態が平年をやや上回るペースで推移
- 6月も引き続き順調で、特に問題なく健全な生育状況を維持

太平洋岸北西部各地の生育状況

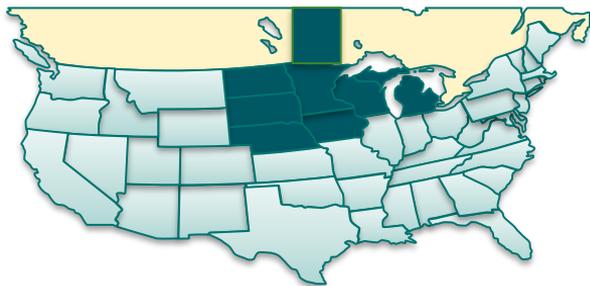
シェポディ種
オレゴン州マルヒュア郡、2018年6月下旬

シェポディ種
アイダホ州ジェローム郡、2018年6月下旬

CSC Farms, Jerome ID



米国中西部及び一部のカナダ産原料貯蔵・生育状況



ラセットバーバンク種
カナダ、マニトバ州 2018年6月下旬



2017年産貯蔵原料状況

- 加工時にコントロール可能なレベルの品質で、保管状態も問題なし
 - ・ グランドフォークスエリア(米国)：平年より貯蔵量が多い。品質レベルは平年より多少劣るものの加工時にコントロールできる範囲
 - ・ ポーティッジ・ラ・プレーリーエリア(カナダ)：問題なく品質も通常を上回るレベルで順調に加工されている

2018年産作付・生育状況

- 春の長雨により作付けは遅れたが、生産者の努力、良好な土壌環境、天候の安定により遅れを取り戻している
- 現在中西部では通常より乾燥気味ではあるが生産者は灌漑設備を使い適切な土壌水分量を保っている

レンジャーラセット種
ノースダコタ州ドーソン 2018年6月下旬



2018年産新原料への移行時期

太平洋岸北西部

- 今年産の新原料への移行に関し特筆すべき問題はなし。現在十分な貯蔵量があり7月から8月にスムーズに移行できると予想される

中西部(一部のカナダを含む)

- 例年中西部の新原料への移行は太平洋岸北西部の後で、現状の進捗から判断すると本年度は8月～9月にスムーズに移行できると予測されている。

新原料生産開始予定

工場名	予定
モーゼスレイク(ワシントン州)	7月中旬～下旬
オセロ(ワシントン州)	7月中旬～下旬
アイダホ(ライン1、2)	7月中旬～下旬
アイダホ(ライン2、3、4)	8月下旬
グランドフォークス (ノースダコタ州)	8月下旬
ポーティッジ・ラ・プレイリー (カナダ、マニトバ州)	9月上旬

2018年6月30時点予測